

科目名	精神看護 I (情緒発達と精神看護の基本)				DP1、DP2、 DP3、DP5	看護高等課程
学年	1年	分野	専門 精神看護	時間数	30時間	担当 教員 外部講師・専任教員
科目 概要	精神看護の基本となる人間理解を目的として、人格の発達過程、人の心理・行動の特性を理解する。また、自己のメンタルヘルスへの関心を持ち、健康な生き方とは何かについて考える。精神保健上の問題が生活と生き方に与える影響を理解し、基本的な関わり方を学ぶ。					
到達 目標	1. こころの健康の捉え方、影響する要因について理解できる。 2. こころの健康の現状とこころの健康の維持増進について理解できる。 3. 精神看護の目的と役割について理解できる。					
回数	単元項目	授業内容			形態	担当教員
1～6	現代社会とメンタルヘルス	メンタルヘルスへの関心の高まり、世界的な取り組み、日本における取り組み			講義	外部講師
	人間の心とはなにか	心の意識、心の構造、適応と不適応、防衛機制、ストレスと危機			講義	
	発達と心の課題	発達とは、精神の発達、発達の条件、発達段階と発達課題、各発達段階における発達の特徴と課題			講義	
	心の健康と環境	心の健康と家族、心の健康と学校、心の健康と職場、心の健康と地域社会、心の健康と災害			講義	
7～12	精神看護の特質	精神科看護とはなにか、精神看護の動向			講義	外部講師
	精神保健医療福祉の歴史	世界の精神保健医療福祉の歴史、わが国の精神保健医療福祉の歴史			講義	
	精神保健医療福祉と法律	精神保健福祉法、心神喪失者等医療観察法、発達障害者等医療観察法、発達障害者支援法、障害者総合支援法、障害者基本法、障害者差別解消法、障害者虐待防止法、その他の関係法規			講義	
13～15	災害と精神看護	精神障害者に対する災害看護			講義	専任教員
	看護職者のストレスマネジメント	感情労働としての看護、エモーショナルリテラシー（感情を理解し使いこなす能力）、ストレスマネジメントの方法			講義 演習	
	試験	ゆとり時間			試験	
評価 基準	100点満点とし、6割以上を合格とする。また、授業時間数の3分の2以上の出席が必要となる。					
評価 方法	出席状況と講義への参加態度、筆記試験などで総合的に評価する。					
教科書	新看護学 15 精神看護 医学書院 その他、必要時に資料を配布する。					
履修上の 注意点						